

NPOグレースケア

NewsLetter Vol.70



飛び出せ介護保険！

6月22日、三鷹武蔵野社会福祉士会で「飛び出せ介護保険！ケア社会をめざして」をテーマに柳本がお話をしました。制度の課題と縦割りを越え、年齢や障がいの別を問わないトータルケアはどのように可能か、自費と組み合わせた実践とともにお伝えしました。

参加者は病院や包括支援センターの相談員さん、後見人など福祉援助職が多く、制度の利用視点からソーシャルアクションに至るまで、質疑も熱を帯びました。



みたか多世代のいえ オープンに向け準備中

村野医師が“家守”となり、シニアや難病の方、母子世帯や学生さんが共に暮らす「みたか多世代のいえ」。グレースケアからは「おいしい事業部」が料理番として、「ものがたり事業部」がシェア本棚に参加するほか、介護や家事を担っていきます。



詳しくは



ペットケアの連載だワン

読売新聞のサイト「yomiDr.」で、藤原るかの連載『ヘルパーは見た！在宅介護ペット事件簿』の連載が始まりました。ポメラニアンの子に、インコのココちゃん…訪問先で出会ったペットとの関わりを、個性的なケアと共に紹介。ヘルパーの仕事模様もわかると好評です。ワンちゃん猫ちゃんほか動物ケアはペットケア事業部へどうぞ！



ペット事件簿



バンギャルの老後にさっちゃん！

バンギャル=ヴィジュアル系バンドの熱心なファンたちが、老後いっしょに暮らそうぜ！というノリであちこち取材した連載が本になりました。さっちゃんの前身ナースさくまとのトークも出ています。松潤推しの入居者エピソードも交え、オタク・シェアハウス計画を後押し！

ホーム社刊 ▶



D&ISO でお役立ち介護グッズ



週刊ポスト6/23号の企画「物価高に克つ 私の3000円の使い方」で、片づけ事業部の永井美穂が介護の専門家として登場。すべり止めシートや曲がるスプーン、フックかご、薬ケースなどダイソーで揃えました。

祝15周年！ 次代の扉をご一緒に



グレースケアは2008年の起業以来、15周年を迎えました。これも皆さまから頂いたご支援ご愛顧のおかげと深く感謝申し上げます。

6月28日、市民協働センターでスタッフ・ご家族55名が集まり、オンラインから8名参加して、研修交流会と15周年を祝う懇親会を行いました。まず「グレースケアの始まりと次代のケア」をテーマに、制度の限界や窮屈さから、自費を中心に介護職・ヘルパーで事業を立ち上げたこと、その後拠点も増え、指名制や民家デイ、片づけ、おでかけ、シェアハウス、看護、ひとり親、相談などなどメンバーが集まり、まちのご縁で広がっていったことなど振り返りました。



続いて、グループごとにケアの入口や印象深い経験を出し合い、温泉旅行への同行や、拒否から打ち解けたこと、最期にお酒を飲んだこと、看取りで悔いが残ったことなど…互いに賑やかに、又しみじみと語り合いました。介護保険と障がい福祉では目的が異なり、自費はさらに自由であること、それでも当事者目線で関わり、違いを肯定してチカラにしていくことなど共有しました。

そのあと利用者さん方と作ったくす玉を割って乾杯！ 持ち寄りのbuffetでは、和洋中からエスニックにスイーツまでおいしい手料理が並び、お酒やワインとともに愉しみました。コロナ禍を経て久しぶりの再会や互いに初めましての顔合わせもでき、盛り上がりしました。

今回は社内企画で恐縮ですが、あらためて皆さまのおうちへ、でこちゃん・さっちゃん・くまちゃん、そしてまちなかへ、お伺い致します。状況にめげず、次代のケアの扉を開きたく引き続きどうぞよろしくお願いいたします！



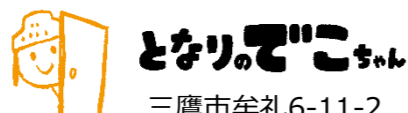
▲ | 品持ち寄り、むうぶさん、Taraさんほかご協力に感謝！



三鷹オフィス 三鷹市下連雀3-17-9
Tel 0422-70-2805 / Fax 24-8307

天文台オフィス 三鷹市大沢2-2-13
Tel 0422-30-8815 / Fax 30-8816

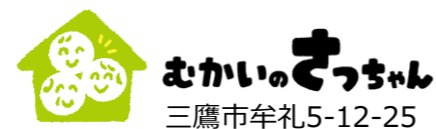
武蔵野オフィス 武蔵野市西久保3-18-14
Tel 0422-27-5430 / Fax 27-5431



三鷹市牟礼6-11-2
Tel 0422-26-7597
Fax 0422-26-7598



三鷹市牟礼5-12-26
Tel 0422-24-9275
Fax 050-3737-7826



三鷹市牟礼5-12-25
Tel 0422-57-8290
Fax 050-3737-7826



三鷹市牟礼5-12-26
Tel 090-7599-8234



<https://g-care.org>



ひとまちここ 介護と看護で安心のまちづくり

5月の全体研修はくまちゃんハウスとオンラインをつなぎ、「ひとまちここ訪問看護ステーション」の寺嶋から『介護と看護で安心のまちづくり』の話をしました。

2021年にオープンしたひとまちここも3年目を迎え、看護師6名、リハ職2名で40数名の利用者様のところに訪問しています。毎週水曜日(月1回はイベント)に開いている保健室もすっかり地域でお馴染みになりました。

今回は事例をいくつか紹介。グレースケアのヘルパーの特徴として医療的ケア(吸引など)ができるため、難病の方のところへ組んで入ったり、服薬管理や透析の方への対応など具体的なやりとりと共に報告されました。続いて「さっちゃん」に住むS様へは入居から看取りに至るまで、処置にとどまらず、食事の介助法や言葉のリハを考えたり、家族と過ごす時間を作ったり、意思決定支援やゆし(亡くなる1週間前にカラオケ!)を後押ししたことなど話されました。



また在宅で入浴や服薬ができていなかったY様は、デイも拒まれていたものの、「でこちゃん」の送迎に合わせて訪問看護で入り、処置と共に話をよく聴き付き添って行ったり、お風呂を当初補助するなど、看護師とのよい関係を元に引き継いだ事例でした。

いずれもヘルパー・介護スタッフと、メールやチャットでやりとりを積み重ね、現場やカンファで顔を合わせながら、互いの価値観や思いを知り、信頼感を元に一緒に取り組んでいる様子がよく伝わりました。

同じ法人で訪問介護・看護から通い、住まいまで(小さな民家ながら)揃い、利用者様の暮らしや願いを大事にしたケアを柔軟に行えるのは強みですが、さらに地域の多職種でつながって安心してゆしまちづくりに取り組んでいきたいと思いました。



新たなトータルケアコーディネーターが加わりました!

浅見 英恵 (あさみ はなえ)

趣味は手芸、お菓子作り、スキューバダイビングです。今の楽しみは、愛犬と休みの日に家でのおんびりと過ごすことです。

銀行員や家電量販店で販売員をしたり、20代にはオーストラリアを4か月ほど一人旅をしていました。介護施設や訪問介護のヘルパー、病院の看護助手を経験後、ケアマネジャーを施設や在宅で12年ほど務めました。昨年1年間は、保育士として保育園に勤務していました。

グレースケアはいろいろな分野でたくさんの方が働いており、赤ちゃんから高齢者、障がい者の垣根なく、それぞれの人が楽しく日々の生活が過ごすことができるようにお手伝いをしたいと思っています。

愛犬 プティ・ボーヌール (意味:小さな幸せ) 5歳



となりのでこちゃん

まちなかマルシェ 賑やかに初出店

6月10日、緑町パークタウン(武蔵野市)で行われたマルシェにてこちゃん出店し、ハモニカ横丁朝市のお店に交じて「でこ印」の乾燥野菜を販売しました。

何ヶ月も前から試作を重ね、当日は干しシイタケなどを並べました。野菜を切ったり、干したり、並べたり、封をしたり、シールを貼ったり...と手仕事をそれぞれ担い、利用者様皆なで準備しました。



当日は、おばあちゃん・おじいちゃんと10名ほどで売り子さんになり、ご近所の方々とのお話を楽しみ、他の雑貨やお茶のお店もまわって買物しました。

お隣りでは子ども達が始めて大騒ぎの綿菓子屋さん周辺を、おばあちゃんたちが交通整理(笑)。おまけで配った七夕飾りも好評でした。

お声をかけたケアマネジャーやご利用者様、ご家族、グレースケアのスタッフも入れ替わりに顔を出され、地元の方々とのお話を笑顔いっぱい楽しみました。でこちゃんでは「百歳のお野菜」はじめ、今後もまち仕事に出かけていきますのでよろしくお願いします。

消防署で上級救命講習

5月、グレースケアでは3年ぶりに「上級救命講習会」を三鷹消防署で2回行い、スタッフ29名が参加しました。はじめに、講師の方から「(介護職の)皆さんの方が私より知っていることも多いでしょう!今日はスムーズに終わらせようですね」とご挨拶(プレッシャー?)をいただき、一同気合が入ります。

まずは人形を相手に心肺蘇生を実践。「1、2、3、4...」と声を出しながら、真剣に心臓マッサージを行い、傷病者が子どもの場合や、AEDで周りを巻き込むなど、ワンランク上のテクニックも教わりました。

応急手当のパートでは、1枚の三角巾がいろんな形に変身!「どうやってやるの?」「まるでマジック!」と互いに教えあいながら、和気あいあいと学びました。

知識と技術の両面で、いざという時にもあわてず対応できる力を身につけていきたいです。

